江戸考

三

特別
ル4
6327
3

114
6327
3

江戸藩三崎図

▲右壁書きの書彩書法大書之候ものも書
る書濃書夫叢書里東書けさられ書親文書あるる書
右場書江戸書目安書一ハ書まてこ図安付町小路
并称宮町浮瀧橋欠薙之初り代年

一本芸能寺図名毎書ようたもの付ゆけくれ和泉書
ものそれより千石程ものを図右ものを右ものを紙ものを川あるものを
まものそれ分ものへ付てものを絵図図和泉書ものを右ものを図
中場れ松平伊豆ものを太井図汐ものを滝川出ものを地蔵太井伝法ものを地蔵
るものへ毎ものへ出れるものへ出れけるものへ出れけるものへ
一右ものを太井図汐ものを書ものへ毎ものを書ものへ毎ものを太井伝法ものを
書ものへ毎ものをものをものをものをものをものを右ものを地蔵
如意織ものを毎ものへ出れ振合ものを
ものをものを書ものへ毎ものをものへ出れけるものへ
一右ものを太井伝法ものを書ものへ毎ものを書ものへ毎ものを滝川出ものを市書ものを

それより屋敷地高三石五斗八升五合五勺
寺領御朱印高五十石
右源山之寺ハ天正年間開基之由
寺内ハ慶長年間之比
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一ゝ毎年ゝ毎年ゝ毎年

一坂はかりまてあゝ西へ行りしるよ祇園牛頭天王乃清興と申すと
うら屋とまつひうつ生り家れといゝなむ紙さらまてゝ京小紙
ありはかりそうゝはなし紙小紙あゝ
一あさゝ指ようあゝめよさゝだはかり又てりうはれいは絵職人出りは商
商人乃去意ゝ乃ゝ京ゝ乃ゝ生ゝ乃ゝ
みてあるとあさうゝはゝ指ゝ云ゝ乃ゝ紙はかり
一小紙はかりあるさて小紙はまてあんはるとはゝ乃ゝ
はゝんはいゝゝゝはかりはゝ京絵はかりゝ
やゆんゝはゝんゝゆゝはゝんはゝはゝはゝはゝはゝ
れの乃ゝ紙と宮ゝゆゝ世指ゝ絵はかりゝ
新京ゝゝはかりゝ今ゝ京ゝゝはかりゝ
紙はゝんはゝとはゝて小紙はかりゝ
京海乃のゝゝ京ゝゝゝはかりゝ
ゝはゝ紙ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝはかりゝゝゝゝゝゝゝ
一はかりはかりはゝ西新紙本はかりゝ
ゝはかりはかりはゝ

右ゝあさゝ指ゝ京乃はかりゝ西ゝはかりゝ
はゝ紙はゝゝはゝはゝはゝ紙はかりゝ
一大絵はかりゝゝ南ゝはゝ西ゝはかりゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
一新紙本はかりゝ西ゝはかりゝはかりゝ
ゝはかりゝ新京ゝはかりゝはかりゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
一ゝはかりはかりゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
一ゝ西新はかりゝはかりゝはかりゝ
ゝはかりゝ

▲祢宜乃浄瑠璃分欲家政之事

かれ浄瑠璃ゝ抗えゝいかゝ左馬頭源義朝ゝゝ八男清興ゝ牛ゝ丸ゝ
ゝ鎧後ゝゝ男ゝゝ又ゝゝ牛清乃乳ゝ討まして祇園牛ゝゝゝゝゝ

ちんぴら所

為りて長日乃元日と称皆体長たるの人〻五人ならびて湯会こ
とをて後とこうせり乃元もよろつて浮世乃一切乃事ども
皆ものそらまつまりのよろくれなるのよ十の歳乃春乃初乃元日
義云とあつ河くさてそこまつまと思ひて出ることの初義経とくうて真務
よりて思ふまを日天橋乃花のつさ
まを代れ楽所乃戸口のもてこそ
代よりこの乃をかりの乃ものこと
ものひて乃連よさすが乃本よ
乃ものこに代りてものを代
出乃と深乃ものこのへすりの乃
を更あまさを大さうま作物を
又ものこ乃元稼ものを花
代ものを金銅乃を今物乃元日
一寸寿牧乃橋くとのを後
くいろ女よりてまを乃元
海敵をもて今ものとうひて

ぬりの笛敷と入てまひをりの寸とうひてまひるの牧めるの也とうて寸敷
牧くいろくをとはまてて拝女た芝花と梅て寸寿牧とを乃名人
乃よりてまうひて女乃婦くるの乃れて粗るく雪間とかをゆくのれ
くいろをと和先乃又をくか年乃ものよ縄とうくれ乃寸て
を乃ものとをくさやうりて人乃名とををんよをもてくて
ものをせるけゆくのものの市とるをものを粗をとをるけよい付餐とをするの
代ものをてい中村乃家粗元乃市村乃粗くこ二をくのるのをく
本横乃ものを二をくの寸寿壽乃粗乃縄よりをとの孫芝花乃粗よ畑畑と敷
くくうくをるをもく今をの糸乃代乃くくうくをもの乃名とるて寸れ粗を
ものを乃元乃もの寸寿くいろ女よりてまを乃元
寸乃西橋よりをくをと乃粗乃ものをくをくて
をもくをもくをんくをんくをんくの乃つくて武をあるをるのいるの
又代をのひをれ乃男女乃をくをんをんまりのあるくの代乃
しをうけの乃をくを乃ものをくを乃をるのり邑名人乃橋名
とをくをくれて粗をもをくを乃元乃をくをくをくを今れ寸乃
ちをくをて綾花綿と粗をくをくをくの代乃敷乃をくをのをくを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一松平[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

日本ぢう

四ましてようこうたる井さるたうもつて宗文橋ゟ後ゟ紀ハケ所ゟ出る松茶屋ゟ
表ゟ宗橋田中ゟ出る紀ハケ所ゟ不安藝ゟ出る山淀橋ゟ九尾八尾表
長ゟ名ゟ大遠所ゟ西井ゟ出る紀ハケ所ゟ表ゟ高野ゟ出る名倉ゟ出る山王
ゟ出る大数井ゟ伝法ゟ出る高つ島ゟ出てよりたゟ出へめよりこだ所
ゟ出めこてめ宮ゟ乃ゟ山へ乃ゟ出へ出てう場へ出るよ薬所ゟ出ゟ出めゟ出へ出る
一小八ケ瀬ゟ宮ゟ乃ゟ山へ乃ゟ出ゟ出ゟ出

はるかにかすみたるすびあるかの方に小橋をあり本願寺乃たまり
一ゝ西へ行くに右いさり橋西へ行くよりまつ田を行くに松平和泉守乃
屋敷なるを行て東へ行くに角屋敷にて小橋にてなし内藤家
ゝ右に長屋つゝ前のつゞき伊井右京ゝ松平上総守乃屋敷
行ゆき海に橋をけるをけすまて
一ゝ内藤越前守乃長屋つゝ右手乃方へ西へ行て小橋を渡りて茶屋坂へ
右松平左近乃ゝ行ゆき堀をけるゝ行ゆき堀をけるゝ行ゆき
前に橋をけるけれ橋くゝ云ゝ浅野宋安乃ゝ堀をゝ
本願寺へ乃ゝをけるゝ行ゆきゝ
一けれ橋前橋と橋をけるをけるゝ行ゆきゝ西へ行ゆき
橋をけるけれ右ゝ内藤左近乃ゝ松平上総守乃ゝ前を行ゆき
大溝藩乃ゝ一柳橋をけるゝ安藤内蔵乃ゝ
行ゆき堀をけるゝ安藤内蔵乃ゝ
同ゝ前文射をけるけれ海乃ゝ
ゝ右ゝ右ゝ松平乃ゝ
つゝき藩乃ゝ地蔵乃ゝ行ゆきゝ前を行ゆきゝ松平左近乃ゝ

松平大和乃ゝ右ゝ行ゆきゝ
前の堀をゝ西へ行て西へ行くゝ松平乃ゝ
ゝて西へ行ゆきゝ前のゝ西へ行ゆきゝ
小橋をけるけれゝ海をけるゝ
本願寺へ乃ゝ本願寺へ乃ゝ海
一ゝ内海をけるゝ山に出るゝ
山に出るゝ右ゝ前に出るゝ
前房乃ゝ内田乃ゝ内藤
西へ出て伊藤出るけれ
橋をけるけれゝ右ゝ
藩乃ゝ長谷乃ゝ
行ゆきゝ大溝橋へ出るけれ
右ゝ掛けるけれ
一けれ橋あつけれ西へ
かゝ西へ行て行ゆきゝ
ゝ右ゝ乃ゝ

[illegible]

鉄炮津　西本願寺

一公方様いかりの門ゆるしよりこれを西乃年礼[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]